

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすくら 相模原中央教室

保護者等数(児童数) 16 回収数 14 割合 88 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10			4	教室の広さも十分あり、子供たちののびのび過せると思う。	広さを十分に活かした活動を今後も行っていきたいと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			4	お迎えにいくと常に一定数の職員の方がいるため適切だと思う。	当日利用の児童の特性等に合わせた職員の配置を今後も行ってまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			4	契約時以降、教室内を見たことが無いのでよくわかりません。 安全面に配慮した環境になっていると思う。	面談時に教室内をご案内していきたいと思えます。いつでも見学可能であることを、保護者の方に今後も発信していきたいと思えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			3		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11			3	面談や電話で、担当の方が話を聞いてくださり、ニーズや課題が組み込まれた計画になっていると思う。	今後も本人・保護者様との面談等により、ご希望やニーズに寄り添った計画を作成していきたいと思えます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			4		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			3		定期的な面談時の他、連絡帳や日々の送迎時に支援内容をお伝えしております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14				子どもがいつも楽しみにしており、活動プログラムに満足しています。 子どもが飽きずに参加できるよう工夫されていると思う。	職員全員が意見を出し合い、活動プログラムが固定化しないよう工夫していきたいと思えます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5		3	6	聞いたことが無いのでわかりません。	近隣の園等との交流も今後検討していきます。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	2			契約時に説明を受けました。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12		1	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	7	2	3	2	家庭でできるプログラムがあれば教えて欲しい。	保護者様のニーズに合ったペアレントトレーニングを今後検討・実施していきたいと思えます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1		1	連絡帳や送迎の時に説明してもらっている。	連絡帳や送迎時だけでなく、個別に面談や電話等により、お子様の状況・課題について保護者様と話し合う機会を増やしていきたいと思えます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	3	1		事前のアポなしでも、電話等で気軽に相談や質問に対応してくれる。	今後も出来る限り、ご質問・ご相談に対応させていただきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	5	6	参加したことが無いのでわかりません。	保護者様のニーズ等確認し、検討していきたいと思えます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1		2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1		1	相談や質問等しやすい雰囲気があり、職員の方も優しくしやすい方が多いと思えます。	今後ご満足いただける対応を心掛けていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1	1	2	活動の様子をSNS等で見てみたい。	SNSでの情報発信を検討していきたいと思えます。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	1		3			
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1		4	契約時に一通り説明を受けたと思えます。	契約時以降も、定期的に保護者様に説明していきたいと思えます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			4	避難訓練に参加した日に説明をうけました。	今後も定期的実施し、実施結果を連絡帳等で伝えていきたいと思えます。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14				いつも楽しく通っています。 お迎えの電話が来ると喜んで玄関に向かいます。	今後も楽しく通っていただけよう取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	14				こぼんへ通うようになってから、園や知人から「変わったね」と言ってもらえるようになった。 とても満足しています。	今後もご満足いただけるよう取り組んでまいります。

236 14 14 57

74%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすくら 相模原中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		曜日により利用人数が偏らないように日々確認しております。	広いスペースを有効活用した活動を増やしていきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であるか	4		事前に配置・役割を決めております。	職員の当日欠勤等あった場合は不足していると感じることもあります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		利用者にわかりやすい環境設定を心掛けております。	各々の利用者に合わせてツールや環境設定を更に進めていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		日々清掃・換気・消毒はこまめに行っております。	今後も安心・安全に過ごせる環境を作っていきたいと思っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	毎月のミーティングや月次ミーティング等で業務改善に向けた話し合いを行っております。	非常勤職員の参画が難しい。非常勤職員への情報伝達を密に行う必要があると思います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者様からのご意見・ご指摘については、ミーティング等で対応策・改善策を話しあっております。	今後も保護者様の意向を把握し、業務改善に努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで公開している。	毎年実施しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	特になし。	現時点では実施していないが、今後については検討していきたいと思っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		定期的に内部研修・外部研修に参加しており、研修費用の一部補助もしております。	非常勤職員向け研修の充実を図ってきたいと思っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		本人・保護者様との面談時に適切なアセスメントを行い、希望やニーズに寄り添った支援計画を作成しております。	面談や電話連絡の機会を増やしていきたいと思っています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		活動プログラムを決める会議を月に一度実施しております。	職員全員がプログラムを提案できるようにしていきたいと思っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		活動プログラムを決める会議で、様々なプログラムを実施できるよう話し合っております。	本人・保護者様が満足するプログラムを今後も取り入れていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		特に問題なし。	お子さま一人一人に合った計画作成に今後も取り組んでまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		事前の打ち合わせは必ず実施している。全職員が共有すべき事項を連絡ノートに記入しております。	打ち合わせに参加できなかった職員への口頭での指示やコミュニケーションを増やしていきたいと思っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		日々振り返りを実施し、気づいたことや情報については共有しております。	今後は、次の支援につながるような振り返りも行っていきたいと思っています。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		日々日報や連絡帳にて記録を正確に取り、次の支援に活用しております。	今後も日々の記録を取る事を徹底し、支援の実施・改善に努めていきたいと思っています。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		定期的なモニタリングを実施し、計画の見直しや修正を行っております。	職員間での話し合いを通じて、今後も利用者の課題を把握し、定期的な見直しを行っていきます。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		4	現時点では受入児童はおりません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		4	現時点では受入児童はおりません。	現時点では受入児童はおりません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者様からの要望・同意の下、情報共有を行っております。	今後も対応していきたいと思っています。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者様からの要望・同意の下、情報共有を行っております。	今後も対応していきたいと思っています。	

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	近隣の児童クラブ(子どもセンター)等で交流する機会もあります。	今後も積極的に交流等行っていききたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳や送迎時にわかりやすく伝えるように努めております。	保護者様との面談(電話)等の機会を増やし、お子さまに対する共通理解・認識を深めていきたいと思ひます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3		保護者様のニーズ等確認し、検討していききたいと思います。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			管理者が契約時に行っております。不明な点が無いよう丁寧な説明を心掛けております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		管理者や児発管が対応しております。	保護者様からの相談に対しては、職員間で話し合い、助言・支援を行っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		保護者様のニーズ等確認し、検討していききたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		管理者や児発管が対応しております。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			今後SNS等による情報発信も検討していききたいと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		研修や会議等で職員に周知徹底しております。	日頃から注意喚起していききたいと思います。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		現時点では該当者はおりません。	該当者がいる場合には、適切な配慮をしていききたいと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			マニュアルは策定済みです。保護者様の中には、周知されていない方もいると考え、定期的に周知していききたいと思います。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に避難訓練を実施しています。	今後も全利用者が参加できるように定期的に実施していききたいと思います。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		契約時に聞き取りし、把握しております。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		現時点では該当児童はおりません。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		何時でも職員全員が見ることが出来る場所に保管しております。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		1年に1回以上、全職員が虐待研修を受け、虐待が発生しないよう取り組んでおります。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			現時点では該当児童はおりませんが、今後必要な場合は保護者と連携の上、判断していききたいと思います。	